除湿機保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HJS-56	※お買い上げ日	保証期間
		平成　　年　　月　　日	本体：1 年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　　-	様
※販売店	住　所 店　名	〒　　-	TEL

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口 (☞19 ページ)にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞19 ページ)にお問合わせください。
● 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☞18 ページ)をご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL. 03(3260) 9611
FAX.03(3260) 9739

130312-7

取扱説明書

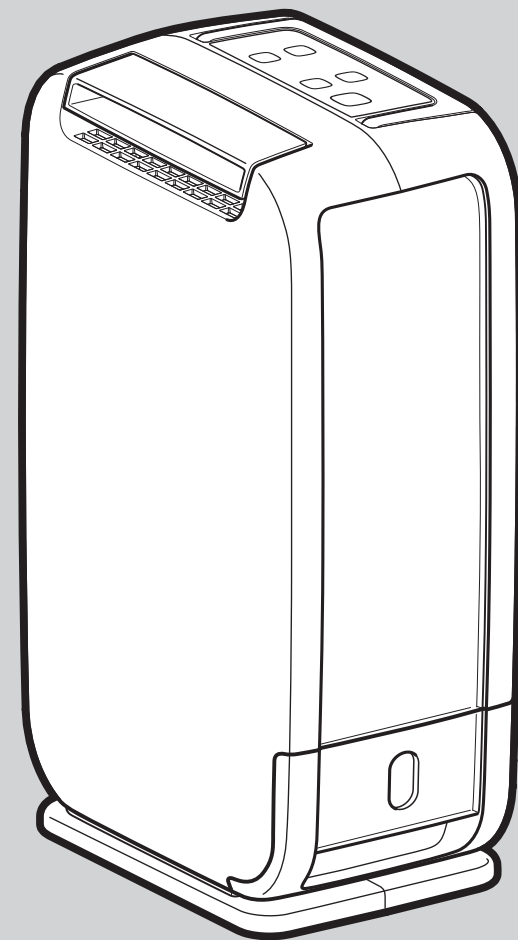
日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

除湿機

型式 HJS-56 (エッチジェーエス 5 6)

このたびは、除湿機をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。

目次

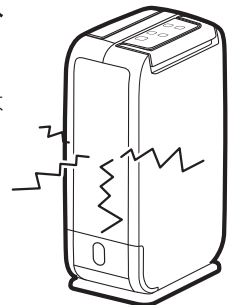
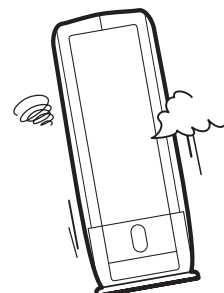
Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

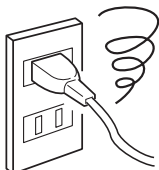
● この除湿機は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
● この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
● 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〈絵表示の例〉

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警　告

●電源は交流 100V 専用コンセントを使用する。
火災や感電の原因となります。

強 制

●電源プラグの抜き差しにより本体の運転や停止をしない。
感電や火災の原因となります。

禁 止

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

強 制

**●お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグも抜く。
また、電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。**
感電やケガをすることがあります。

プラグを抜く

●コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。
感電や発熱・火災の原因となります。

禁 止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。
感電や発熱・火災の原因となります。

禁 止

警　告

●空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない。
内部で羽根が高速回転していますので、ケガの原因になります。

禁 止

●発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火するおそれがあります。

火気厳禁

●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。
感電や火災・ケガの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

分解禁止

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
異常のまま運転を続けると故障や感電や火災などの原因になります。

プラグを抜く

注　意

●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱や発火の原因になります。

強 制

●長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災の原因になります。

プラグを抜く

安全上のご注意

●水平で丈夫な場所で使用する。
ご使用中に本体が倒れると内部の水が室内に浸水して家財などを濡らしたり感電や漏電・火災の原因になります。

強 制

●押し入れ・家具の隙間など狭い場所で使用しない。
風通しが悪くなり、発熱や発火の原因になります。

禁 止

●水のかかりやすい場所で使用しない。
感電や漏電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

●油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。
万一漏れて本体の周囲にたまると、発火の原因になります。

禁 止

●屋内専用。直射日光の当たる場所・雨風の当たる場所で使用しない。
過熱や感電や漏電・火災の原因になります。

禁 止

●美術品や学術資料などの保存等、特殊用途には使用しない。
保存品の品質低下の原因になります。

禁 止

●薬品を扱う場所で使用しない。
（病院、工場、実験室、美容院、その他）
空気中に揮発した薬品や溶剤により除湿機が劣化し、除湿した水が漏れて家財などをぬらす原因になります。

禁 止

●本体からの風が直接あたるところに燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの原因になります。

禁 止

注 意

●ルーバーを持って持ち運ばない。
本体が落下して、ケガの原因になります。
持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。

禁 止

●移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水を捨てる。
内部の水が室内に浸水して家財などを濡らしたり感電や漏電・火災の原因になります。

強 制

●吹出口や吸込口を布などでふさがない。
風通しが悪くなり、発熱や発火の原因になります。

禁 止

●本体の上に乗ったり、腰掛けたりしない。
落下や転倒などによりケガの原因になります。

禁 止

●次のような方がお使いになるときは、特に周囲の人が注意する。
（乳幼児、お子さま、お年寄り、意思表示や機器を操作できない方）
運転中に熱を発生するため、室温が上昇します。風を体に直接当てたままで、長時間ご使用になると体調をくずしたり、脱水症状をおこす原因になります。

強 制

●本体を水洗いしない。
感電や火災の原因になります。

水ぬれ禁止

禁 止

●花瓶など水の入った容器を上にのせない。
水がこぼれて中に入ると、電気絶縁が低下し、火災や感電の原因になります。

禁 止

●除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない。
健康を害するおそれがあります。

禁 止

●除湿機の周辺温度が氷点下になる場合はタンクに水をいれたままにしない。
水が凍ってタンクが割れ、漏水の原因になります。

禁 止

●フィルターをはずした状態で使用しない。
本体内にほこりを吸い込み、故障の原因となります。

特　長

1 ノンフロンのデシカント除湿方式

デシカント除湿方式とは

●水の吸脱性に優れた多孔質乾燥剤を用いて空気中の水分を吸着させ、ヒーターの熱により、乾燥した空気を吹出します。吸着した水分は、熱交換機で水滴となってタンクにたまります。

●ご使用の条件（外気温・部屋の広さ）によって、室温が約3～8℃上がることがあります。
●お部屋の広さや構造にもよりますが、50%以下の低湿度に維持することはできません。

2 衣類乾燥運転

部屋干しした洗たく物を乾燥させます。

*お部屋の湿度、広さ、構造等により洗たく物の乾く時間が変わります。また、洗濯物の真下に設置しないでください。洗濯物が落ちて吸込口やルーバーをふさぐおそれがあります。

3 自動除湿運転

●湿度センサーで快適な湿度（約45～50%）※1に自動コントロールします。

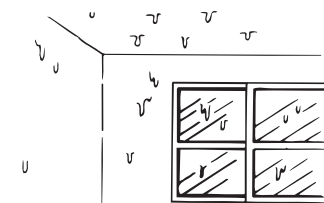
※1 本体内部の湿度センサーが検知した湿度

4 結露セーブ運転

●湿度センサーで湿度を約35～40%※2に自動コントロールし、お部屋の窓や壁の結露を抑えます。

※2 本体内部の湿度センサーが検知した湿度

*お部屋の広さ、構造等により湿度が下がらない場合があります。

5 ワイドな送風のオートルーバー

●ワイドな送風範囲（最大約150°）に自動スイングするオートルーバー搭載。洗たく物や除湿したいところに向けると効率良く乾燥ムラを抑えます。

6 アレルブロック除菌フィルター

●フィルターにキャッチした菌※3や花粉※4、ダニのふん・死がい※5を抑制

※3 試験方法：フィルターでキャッチした菌の除菌。混釈平板培養法による。
試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構にて測定
試験結果：99%以上抑制

※4 試験方法：フィルターでキャッチした花粉の抑制。電気泳動法による。
試験機関：信州大学繊維学部にて測定
試験結果：抑制を確認

※5 試験方法：フィルターでキャッチしたダニのふん・死がいの抑制。ELISA法による。
試験機関：信州大学繊維学部にて測定
試験結果：抑制を確認

知っておいていただきたいこと

1 お部屋の温度について

●室内除湿・衣類乾燥運転中は、お部屋の温度が上がることがあります。

ご使用の条件（外気温・部屋の広さ）によって、室温が約3～8℃上がることがあります。

2 衣類乾燥について

●洗たく物は間隔をつめすぎず、風が行き渡るように並べると、乾燥効果が上がります。また、洗濯物の真下に設置しないでください。洗濯物が落ちて吸込口やルーバーをふさぐおそれがあります。

3 タンクの取外し、取付

●取外し時は、運転を停止してからゆっくりと取り出してください。タンクから水があふれるおそれがあります。
●取付時は元どおりに奥まで静かに入れてください。タンクは確実に取り付けないと自動停止装置が働き、運転しません。

4 自動停止機能について

●運転時間が10時間を過ぎる（切り忘れ防止機能（10時間オートオフ））か、水タンクが満水（約1.8L）になる（満水自動停止機能）と、自動的に運転を停止します。
また、お部屋の湿度が低いと、除湿運転を行いません。湿度が高くなると自動で除湿運転を開始します。

設置場所について

●水平で丈夫な場所を選びます。
●壁や家具などのそばでお使いになるときは、右図の距離を確保してください。故障や性能低下の原因になります。
●衣類を乾燥する場合は、吹出口と衣類の間は40cm以上離してください。洗濯物の真下に設置しないでください。

注意

●空気の吸込口や吹出口を布やふとんなどでふさがない。

お願い

●殺虫剤やスプレーなどを吹きつけないでください。
引火のおそれや変形・ひび割れの原因になります。
●テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。
（映像の乱れ、雑音防止のため）

各部のなまえとはたらき

ルーバー

吹出口

コード

電源プラグ

操作部

タンク

お知らせ

●工場での除湿テストでタンクに水が残っている場合がありますが、使用上問題ありません。

ハンドル

持ち運びのときに使います。

フィルターカバー

吸込口

水位窓

アレルブロック除菌フィルター

操作部

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 運転「切／入」ボタンを押します。

●押すたびに「運転」「停止」が切り替わります。

●電源プラグを差し込んだ後、運転「切／入」ボタンを押すと「自動（室内除湿）」で運転します。

メモリー機能

●運転停止後、運転「切／入」ボタンを押すと、前回の運転で始まります。

●電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。

3 室内除湿 または 衣類乾燥 ボタンを押して、お好みの運転にします。

切り忘れ防止機能（10時間オートオフ）

●タイマー運転をしなくても運転開始時から10時間後に自動的に運転が停止します。

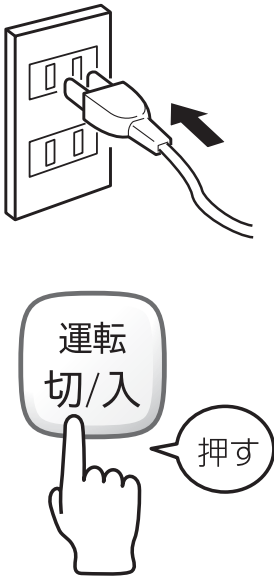
4 運転を停止したいときは、運転「切／入」ボタンを押します。

●運転停止後約2分間は、ヒーター冷却のため、送風で運転します。

●電源プラグは、運転「切／入」ボタンを押して2分以上経過後送風が停止してから抜いてください。

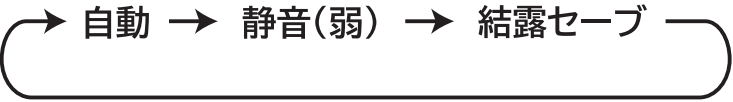
お知らせ

●使用条件によっては湿度が下がらないことがあります。
●タンスの裏などは湿気がたまりやすく結露することがあります。
●運転「切／入」ボタンを押したときや運転中に「カチッ」と音がしますが異常ではありません。

⚠注意
●フィルターをはずした状態で使用しない。本体内にほこりを吸込み、故障の原因となります。
●運転中は電源プラグを抜かない。本体内の温度が上がり、故障の原因となります。

運転切替

室内除湿 ボタンを押します。

●押すたびに運転が切り替わり、ランプで表示します。

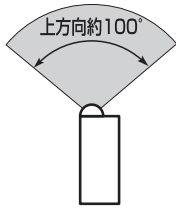
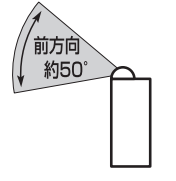
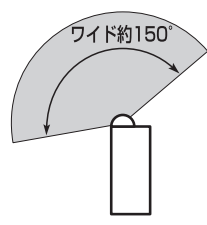
→ 自動 → 静音（弱） → 結露セーブ ↩

運　転	運　転　内　容
自動	**お部屋の高い湿度を快適な湿度に下げたいときに** ●湿度センサーの働きで、湿度を約45～50%※に自動コントロールします。 ※本体内部の湿度センサーが検知した湿度
静音（弱）	**風の吹出しを弱くして除湿したいときに** ●吹出し風量を弱くした自動除湿運転をします。
結露セーブ	**お部屋の窓や壁の結露を抑えたいときに** ●湿度センサーの働きで、湿度を約35～40%※に自動コントロールします。 ※本体内部の湿度センサーが検知した湿度

＊お部屋の広さ、構造等により湿度が下がらない場合があります。

衣類乾燥 ボタンを押します。

●押すたびに運転が切り替わり、ランプで表示します。

→ 標準 → 急速 ↩

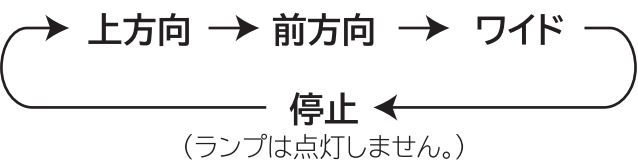
運　転	運　転　内　容
標準	**夏期などあまり室温を上げずに送風中心で洗たく物を乾燥させたいときに** ●室温に応じて、自動的に温風と送風を切り替えて除湿運転をします。
急速	**洗たく物を早く乾燥させたいときや冬期などに洗たく物を効率良く乾燥させたいときに** ●温風を吹出して風量を強くした除湿運転をします。

使いかた

風向調節

●洗たく物や除湿したいところに風が直接当たるように風向き調節します。

オートルーバー ボタンを押します。

（ランプは点灯しません。）

●押すたびにルーバーの運転が切り替わり、ランプで表示します。

運　転	運　転　内　容
上方向	**少なめの洗たく物の乾燥や腰窓の結露対策に** ●ルーバーが上方向約100°の範囲でスイング送風します。 上方向約100°
前方向	**スタンド型物干台や下駄箱などの乾燥に** ●ルーバーが前方向約50°の範囲でスイング送風します。 前方向約50°
ワイド	**たくさんの洗たく物の乾燥や室内の除湿に** ●ルーバーが約150°の範囲でスイング送風します。 ワイド約150°
停止	**ルーバーをお好みの角度にしたいとき** ●「ワイド」に設定したあと、ルーバーがお好みの向きになったところでもう一度ボタンを押すとスイングが停止します。 ●ランプは点灯しません。

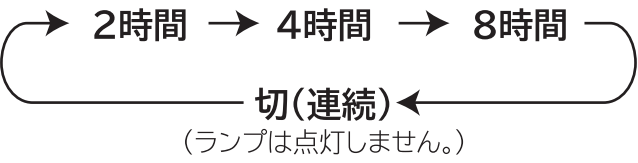
お願い

●スイング中のルーバーを手で動かさないでください。スイング範囲が変わり、故障の原因になります。
●押し入れ・家具の隙間など狭い場所で使用しないでください。（4、7ページ参照）

タイマー運転

切タイマー ボタンを押します。

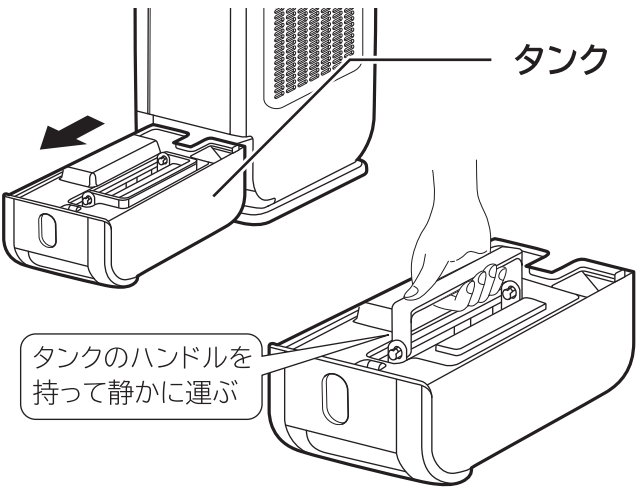
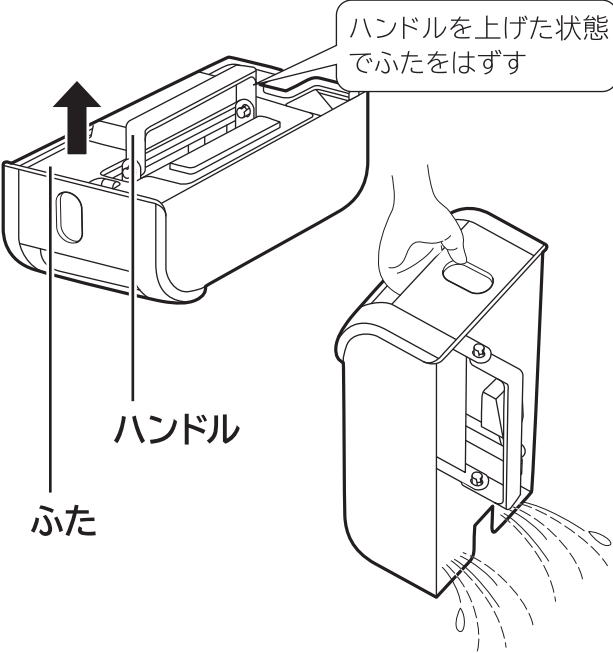
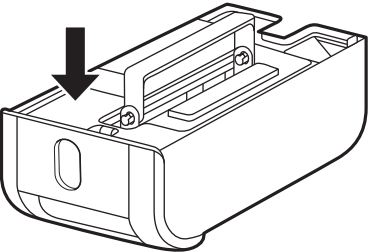
2時間 → 4時間 → 8時間 → 切（連続）
（ランプは点灯しません。）

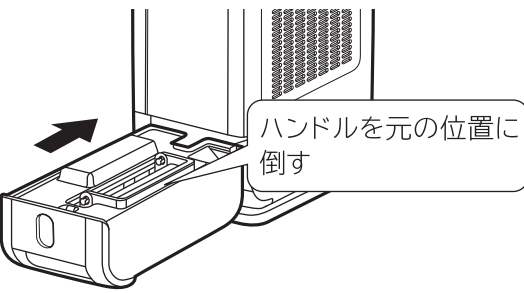
●押すたびに時間が切り替わり、ランプで表示します。
●時間の経過とともに表示ランプが切り替わり、残り時間の目安を表示します。
●設定した時間になると、自動的に運転が停止します。

タンクの水の捨てかた

タンクに約1.8Lの水がたまると、自動的に運転が停止します。
（満水ランプが点灯します。）

1 運転を停止し、タンクをゆっくり取り出す。

お願い

●タンクを強く引き出さないでください。水があふれるおそれがあります。

2 ふたをはずし、水を捨てる。

3 ふたを元どおりに取り付ける。

●ふたが確実にはめ込まれていることを確認してください。

4 タンクを奥まで静かに入れる。

⚠注意

●移動するときは、必ず運転を停止し、水を捨てる。
水がこぼれて家財などを濡らしたり、感電や漏電、火災の原因になります。
●タンクをはずした後、除湿した水が本体底部にたれることがあります。タオル等でふき取ってください。

お願い

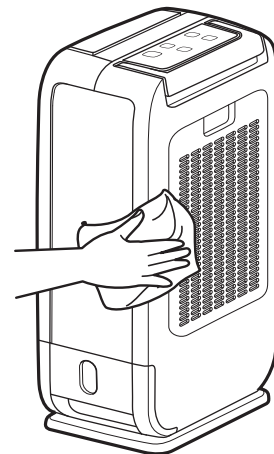
●タンクは確実に取り付けないと満水自動停止装置が働き、運転しません。
●タンク内に付いている部品をはずさないでください。満水自動停止装置が働き運転しませんので、はずれた時は正しく取り付けてください。
（15ページ参照）

お手入れのしかた

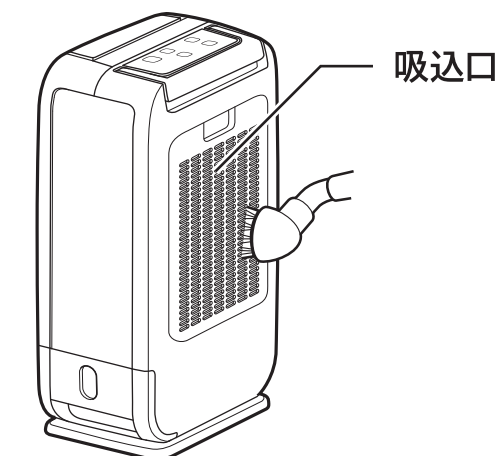
⚠注意 ●お手入れするときは必ず運転を停止して電源プラグを抜く。

<本体>

1 うすめた台所用中性洗剤に柔らかい布を浸し、よくしぼり本体をふきます。

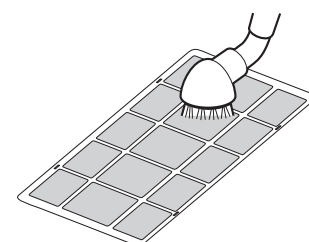
2 本体をふいた後、乾いた布で水分をよくふき取ってください。

<吸込口>

電気掃除機で本体の吸込口のほこりを吸い取ります。

2週間に1回程度が、お掃除の目安です。
ほこりがたまると除湿能力が低下します。

■汚れが目立つとき

<フィルター>

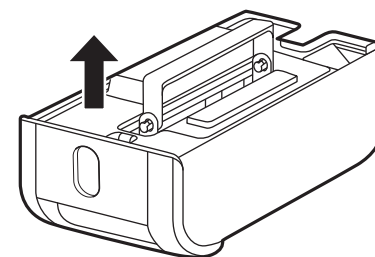
フィルターを取り出し、電気掃除機でほこりを吸い取ります。

●1ヶ月に1回程度が、お掃除の目安です。
フィルターを破らないように注意してください。
●フィルターは水洗いしないでください。
フィルターの効果が低下します。

フィルターの交換について

フィルターの交換は約4年が目安です。
お買い上げの販売店でご購入ください。
(サービス部品として用意しております。)
部品番号:HJS-56F 001

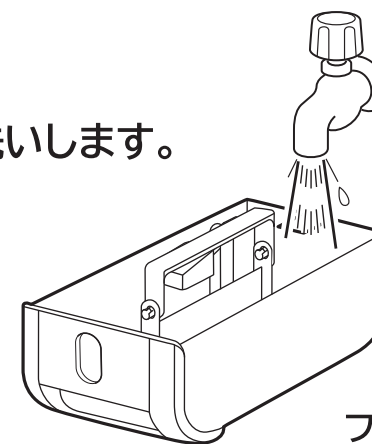
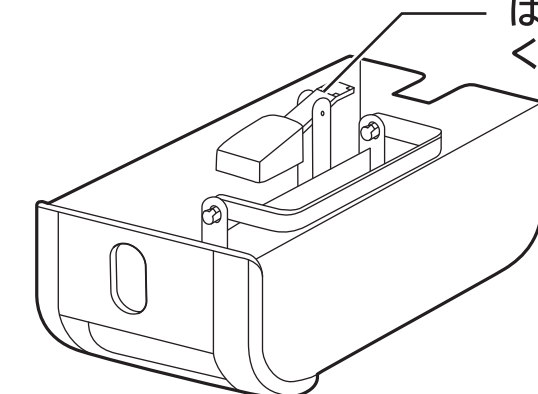
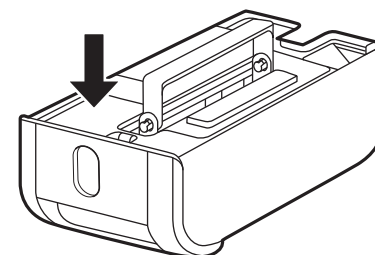
<タンク>

タンクが汚れたら、きれいに洗ってください。

1 ふたをはずします。

2 水洗いします。

3 ふたを取り付けます。

フロートをはずさないでください。

お願い

●ふたが確実にはめ込まれていることを確認してください。
確実にはめ込まれていないと、タンクが取り出せないことがあります。
●タンクは確実に取り付けてください。正しく取り付けないと運転しません。
●フロートがはずれていると、運転しません。はずれた時は正しく取り付けてください。
●フロートに付いている部品をはずさないでください。満水自動停止装置が働き運転しません。
●お手入れのときは次のものは使わないでください。
・40℃以上のお湯
・揮発性のもの (ベンジン、シンナー)・アルカリ性洗剤・カビとり用洗剤・みがき粉など

<長期間ご使用にならないとき>

1 タンクの水を捨てます。
●運転停止直後は、水滴がタンクにたまりますので、1日おいてからタンクの水を捨ててください。

2 本体、フィルター、タンクを掃除します。

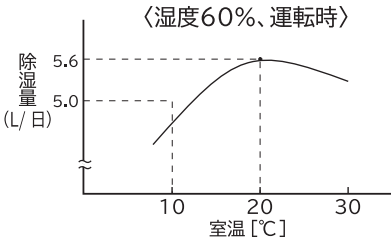
3 本体にポリ袋などをかぶせます。

4 湿気の少ない、風通しのよい場所にまっすぐ立てたまま、保管します。

お願い

●水平で安定した場所に保管してください。
●直射日光の当たる場所には保管しないでください。

故障かな？と思ったら

⚠警告 ●次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。ご家庭での修理は危険ですからおやめください。

症　状	調べるところ	直しかた
運転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。
	●タンクが正しく取り付けられていますか。	●タンクを正しく取り付けます。▶13ページ
	●タンクが満水になっていませんか。(満水ランプが点灯します。)	●タンクの水を捨てます。▶13ページ
	●表示部に緑色のLEDが点灯していますか。●吹出口から風が出ていますか。	●LEDが点灯し、吹出口から風が出ていれば製品は正常です。（お部屋の湿度が低いため、除湿運転を行っていません。湿度が上がれば、自動で除湿運転を開始します。）
除湿量が少ない	●フィルターが汚れていませんか。	●フィルターをお手入れします。▶14ページ
	●吹出口や吸込口がふさがれていませんか。	●吹出口や吸込口をふさいでいるものを取り除く。
運転音が大きい	●水平で丈夫な場所に置いていますか。	●水平で丈夫な場所を選んでください。
	●フィルターが汚れていませんか。	●フィルターをお手入れします。▶14ページ

点検ランプが点灯したときは、電源プラグを抜き、下記に従って点検を実施してください。

●フィルターが目詰まりしていませんか。
→フィルターのお手入れをしてください。

●吹出口や吸込口がふさがれていませんか。
→吹出口や吸込口をふさがないようにしてください。

それでも直らないときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

次のような場合は故障ではありません。

症　状	理　由
除湿しない	●運転可能な部屋の温度は約1～40℃です。これ以外の温度で運転すると、運転を停止することがあります。また、吹出口や吸込口をふさいだ状態で運転すると、除湿機内の温度が上昇し、運転を停止することがあります。（点検ランプが点灯します。▶16ページ） ●お部屋の湿度が低いため、除湿運転を行っていません。湿度が高くなると自動で除湿運転を開始します。 ●連続運転時間（10時間）を過ぎると自動的に運転を停止します。
除湿量が少ない	●湿度・温度が低くなるにつれて除湿量は少なくなります。また、同じ部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減ってきます。 〈湿度60%、運転時〉 除湿量（L/日） 5.6 5.0 室温［℃］ 10 20 30
なかなか湿度が下がらない	●お部屋が広すぎませんか。（除湿可能面積の目安参照 ▶18ページ） ●ドアや窓の開閉が多くありませんか。 ●石油ストーブなど、水蒸気の出るものを使っていませんか。（燃焼による水分の発生が多すぎる場合）
部屋の温度が上がる	●除湿機には冷房機能はありません。デシカント方式はヒーターの熱を利用して除湿するため、運転中は熱を発生します。ご使用の条件（外気温・部屋の広さ）によって、室温が約3～8℃上がることがあります。
においがする	●お部屋ににおいを発生するものはありませんか。 ・新しい家具、整髪料、化粧品、薬品、張り替えたばかりの壁紙などを吸い込んだにおいが本体から再放出する可能性があります。 →部屋の換気を十分におこなってください。 ●使いはじめ吹出口からの風に、甘酸っぱいにおいがすることがありますが異常ではありません。ご使用とともに少なくなります。

点検整備

●除湿機を数年ご使用になりますと、内部が汚れ、能力が低下することがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。

仕　様

特定地域(高地、極寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型　式	HJS-56		
電　源	100V　50-60Hz共用		
消費電力	460W		
除湿能力	5.6L／日		
タンク容量	約1.8Lで自動停止		
使用可能室温	約1〜40℃		
寸　法	幅269×奥行174×高さ445mm		
質　量	5.1kg		
除湿可能面積の目安	木造 12㎡（7畳）	プレハブ 18㎡（11畳）	鉄筋 23㎡（14畳）

※除湿能力・消費電力は室温20℃、相対湿度60%を持続する室内で運転した場合の数値です。
※除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電機工業会)規格に基づいた数値です。
※運転を停止しても、電源プラグが差し込まれていると約1.5Wの電力を消費します。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（☞19ページ）にお問合わせください。

項目		内容
❶保証書（裏表紙についています）		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 **保証期間はお買い上げの日から1年です。**
❷修理を依頼されるときは 出張修理	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が過ぎているときは	修理によって使用できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
❸補修用性能部品の保有期間		当社は、この除湿機の補修用性能部品を製造打ち切り後８年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
❹ご転居されるときは		ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
❺修理料金のしくみ		修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されてます。

❺修理料金のしくみ	内容
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120－3121－68
FAX　0120－3121－87

(受付時間)9:00〜19:00(月〜土)、9:00〜17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談窓口へ

TEL　0120－8802－28
FAX　03－3260－9739

(受付時間)9:00〜17:30(月〜金)
携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検

長年ご使用の除湿機の点検を！

●除湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご使用の際、このような症状はありませんか？		ご使用中止	
	●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●差込プラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他の異常や故障がある。		故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。